

KEYBOARD AMP/PA SYSTEM KX1200

概要

バージョン 1.0 2001 年 5 月

日本語版



BEHRINGER



INSTRUMENT AMPLIFICATION

安全にお使いいただくために

注意 感電のおそれがありますのでカバーその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。製品内部には手を触れず、故障の際には当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。



警告 本機を水のかかる場所や湿気の多いところに置かないでください。火事や感電の原因となります。



このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が通じています。手を触れると感電の恐れがあります。



取扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前によくお読みください。

安全にお使いいただくためのより詳細な注意事項

本機をご使用前に「安全のために」と取扱説明書を通してご覧ください。

説明書の保管

「安全のために」と取扱説明書は、一度ご覧になったあとも大切に保管してください。

警告に従ってください

製品及び取扱説明書に書かれている警告には、必ず従ってください。

指示に従ってください

取扱説明書およびユーザズ・ガイドに書かれている指示には必ず従ってください。

水分および湿気

本機は水の近く、浴槽、洗面台、流し台、洗濯槽の近く、湿気のある地下室やスイミングプールの近くなどで使用しないでください。

換気

本器具は、適切な換気を妨げない場所を選んで設置してください。ベッドやソファのカバーなど、通風孔をふさぐ可能性のある場所や、空気の流れを妨げる造り付けの棚や、キャビネットといった場所には設置しないでください。

高温

本機は、電気ヒータや温風機器、ストーブ、調理台などの熱器具の近くや、アンプなどの熱源から離して設置してください。

電源

取扱説明書あるいは製品上に指定されたタイプの電源以外には接続しないでください。

電源コードの保護

電源コードを踏みつけたり、重いものをのせたり、挟んだりしないようご注意ください。また電源コードやプラグ、コンセントおよび製品との接続には十分に注意を払ってください。

お手入れ方法

お手入れは必ず取扱い説明書にしたがっておこなってください。

長期間ご使用にならない場合

長期間ご使用にならない場合には、電源プラグをコンセントから抜いてください。

異物や水の侵入

通気孔から異物や水が製品内部に入らないようご注意ください。

故障

以下のような場合には当社指定のサービス技術者に修理をご依頼ください。

- 電源コードまたはプラグが損傷した場合。
- 本機内部に異物や水が入ったとき。
- 雨にぬれた場合。
- 正しく作動しない場合、もしくは性能に著しい変化をきたした場合。
- 本機を落下させてしまったり、筐体が損傷した場合。

修理

取扱説明書に書かれている以外の方法での修理は行わないでください。これ以外の修理については必ずサービス技術者にお問い合わせください。


1. 概要

KX1200 をお買い上げ頂きまことにありがとうございます。KX1200 は実用的かつ多様な接続性を持つキーボードアンプです。このユニバーサル・アンプはキーボード器材の理祖運的な増幅のみでなく、小規模の PA システムの完璧な基盤として使用することが可能です。

 **KX1200 の多様な接続方法および特殊な図解は英語版とドイツ語版の取扱説明書に掲載されています。**

1.1 ご使用の前に

KX1200 は安全な輸送のために工場出荷時に十分な注意を払って梱包されていますが、万が一、包装段ボールに損傷を発見した場合には装置外部の損傷についても確認を行なって下さい。


 装置が万一故障した場合には、保証請求権が無効となるおそれがありますので当社へ直接返送せず、必ず販売店および運送会社へご連絡下さい。


過熱を防ぐため十分な換気の確保に留意し、KX1200 を暖房などのそばに設置することは避けてください。

 **KX1200 をコンセントに接続する前に、装置が供給電源に合わせて設定されていることを必ず確認してください：**

メインコネクターのヒューズホルダーには 3 つの三角形マークが記されています。このうち、2 つの三角形は向かい合った位置に記されており、KX1200 はこのマークの横に記された電圧にセットされています。ヒューズホルダーを 180° 回転させると、この設定を変更することができます。注意：この項目は特定の供給電圧用に設定されている輸出用モデルには当てはまりません。

電源への接続には標準型 IEC コネクタ付きケーブルを使用します。このケーブルは必要な安全基準を満たしています。

 装置の接地が確保されていることを確認してください。使用者自身の安全のため、電源ケーブルや装置本体のアースを取り外したり、使用不能とすることは絶対に避けてください。

 過大な音量は聴覚障害の原因となる恐れがあることに注意してください。装置に電源を投入する際にはすべての LEVEL コントローラーを左端まで回して下さい。また 適正な音量 には常に注意してください。

1.2 操作部の説明

1.2.1 フロントパネル

BEHRINGER KX1200 は4つの、同一構造のチャンネルを装備し、各チャンネルにはそれぞれ2つのコントローラーが装備されています。各チャンネルのスイッチやコントローラーの構成は全く同じですので、ここでは一基のチャンネルについてのみ解説します。

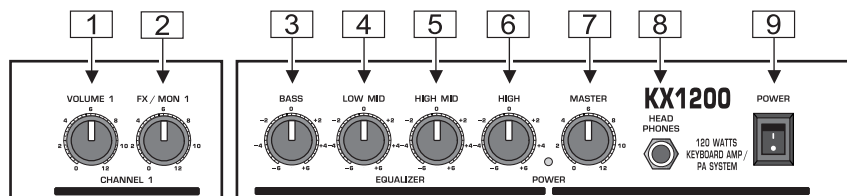


図 1.1: KX1200 のフロントパネル

- 1 *VOLUME* コントローラーはチャンネルの音量調整に使用します。
 - 2 *FX/MON* コントローラーはチャンネル内でのエフェクト信号およびモニター信号の割合を決定します。
- ☞ チャンネル 1 から 4 の *VOLUME* コントローラー基本的には *Gain* コントローラーと同様に機能します。このコントローラーを利用して入力ゲインを変更することにより、チャンネルを通常使用される鍵盤楽器や弦楽器に対応させることができます。
- 3 *BASS* コントローラーはベース周波数のブーストおよびカットに使用します。
 - 4 *LOW MID* コントローラーは中部低音域のコントロールに使用します。
 - 5 *HIGH MID* コントローラーは中部高音域のコントロールに使用します。
 - 6 *HIGH* コントローラーは高域周波数の設定用。
 - 7 *MASTER* コントローラーは KX1200 全体の音量調節に使用します。
 - 8 このステレオフォンジャックにはヘッドフォンを接続します。 *HEADPHONES* ジャックにヘッドフォンが接続されると、内蔵のスピーカーボックスはミュートに切り替ります。
 - 9 *POWER* スイッチは KX1200 への電源投入用。アンプに電源が投入されると、 *HIGH* コントローラーと *MASTER* コントローラーの間に位置する *POWER-LED* が点灯します。

1.2.2 装置後部

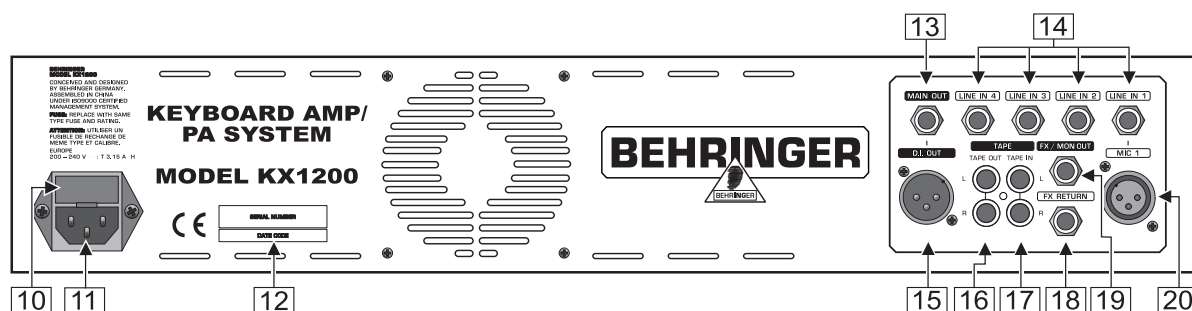


図 1.2: 装置後部のコネクター類

- 10 **ヒューズホルダー／電圧セレクト**：本装置を電源に接続する前に、電圧の表示が供給電圧に一致しているかどうかを確認してください。ヒューズ交換の際には必ず同じタイプのものを使用してください。ほとんどのモデルではヒューズホルダーは 230 V と 115 V の切り替えのために 2 つの異なるポジションで差し込めるようになっています。本装置をヨーロッパ以外の地域において 115 V で使用する場合、大きな安全値をとる必要があることにも注意してください。

- 11 電源への接続には標準型 IEC コネクタ付きケーブルを使用します。専用ケーブルは装置に付属しています。
- 12 シリアルナンバー。
- 13 MAIN OUT フォン出力は他のアンプへの接続に使用されます。
- 🔊 MAIN OUT 出力は KX1200 を、バランス型入力端子を装備していないミキサーへ接続するのに使用することができます。バランス型入力端子への接続の際には必ず D.I. OUT 出力端子を利用してください。
- 14 LINE 1-4: このフォン入力端子はライン出力レベルの楽器との接続用です。
- 🔊 ギター接続の際には、高音部での負荷を低下させるため、KX1200 の入力側の前段にスピーカーシミュレーション付きのギタープリアンプを接続することをお奨めします。ギタープロアンプの出力側には通常、スピーカー・シミュレーションが装備されています。
- 15 このバランス型 D.I. OUT-XLR 出力端子を使用すると KX1200 をミキサーの入力側と接続することができます。
- 16 TAPE OUT-RCA ピンジャックには KX1200 の音声信号が出力されており、録音等に利用することができます。
- 17 TAPE IN-RCA ピンジャックには、ドラムコンピューターやプレイバックなどの外部音声を接続することが可能です。
- 18 FX RETURN コネクタにはエフェクト機器の出力側を接続します。
- 🔊 FX RETURN コネクタはこのほかにも外部アンプの出力信号を KX1200 に入力するために利用することが可能です。
- 19 FX/MON OUT はエフェクト機器の入力側に接続します。
- 🔊 FX/MON OUT コネクタはモニター出力として使用することもできます。FX/MON コントローラー (1 から 4) で接続されている楽器のモニターミックスへの割合を設定してください。
- 20 MIC 1-XLR 入力端子にはマイクを接続します。
- 🔊 チャンネル 1 のマイク入力とライン入力は絶対に同時に使用しないで下さい。

2. オーディオ接続端子

BEHRINGER KX1200 のフォンジャック型入出力端子にはヘッドフォン出力端子を除いてバランス型のモノラルフォンジャックが装備されています。DIRECT OUT 出力マイク入力端子にはバランス型の XLR 出力端子が、また Tape 入出力には RCA ピンジャックが装備されています。

- 🔊 本装置の設置は必ず専門家が行うようにして下さい。設置および操作の際には本装置を完全な状態で作動させるため、作業者の接地を十分に確保してください。

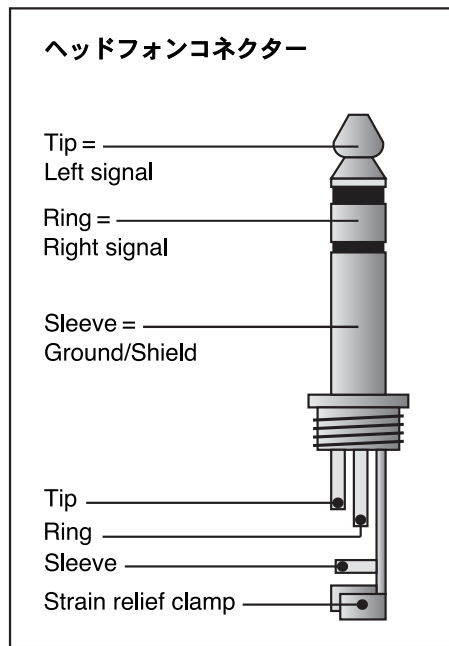


図 2.1: ヘッドフォンコネクター

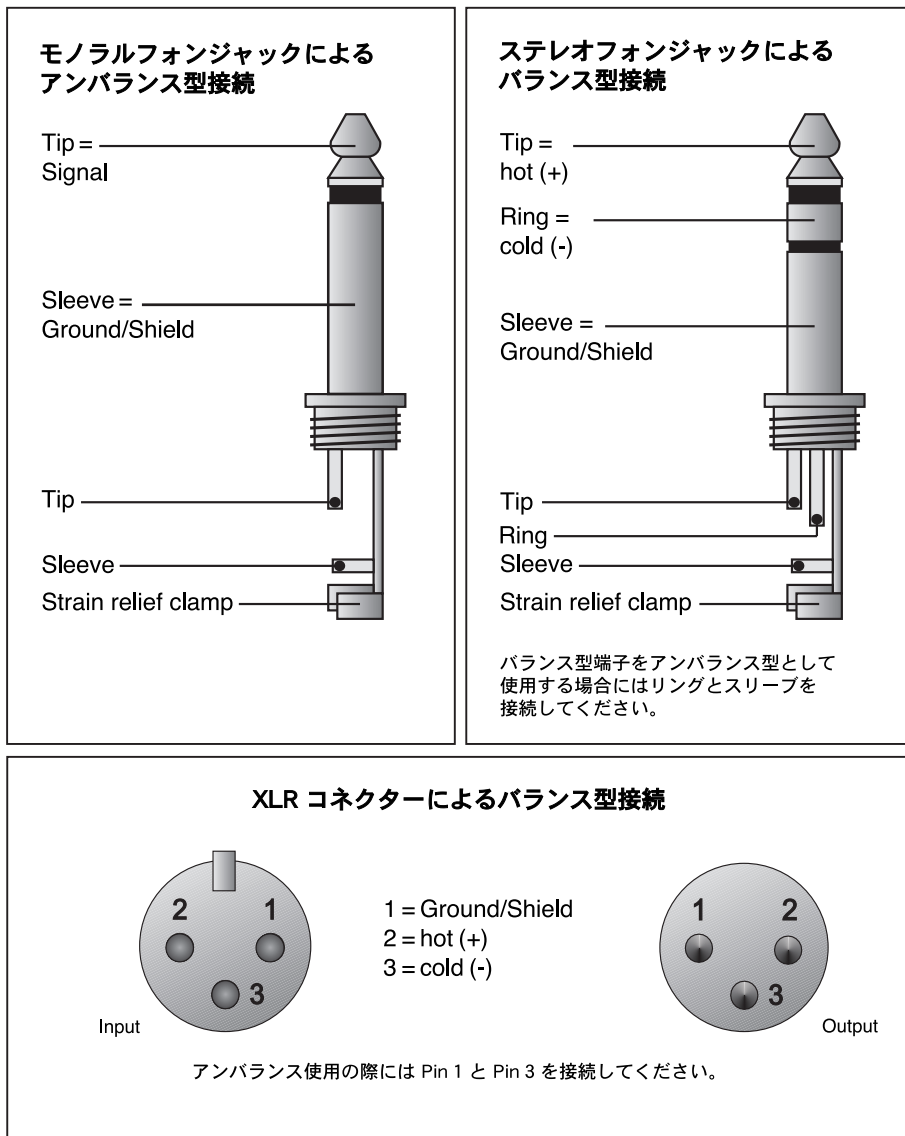


図 2.2: 各種プラグの比較

3. テクニカル・データ

オーディオ入力

Line In 1 - 4	6.3 mm ステレオフォンジャック
入カインピーダンス	約 30 k Ω バランス
FX Return	6.3 mm ステレオフォンジャック
入カインピーダンス	約 20 k Ω アンバランス
Tape In	RCA ピンジャック
入カインピーダンス	約 30 k Ω アンバランス
Mic 1	XLR コネクタ
入カインピーダンス	約 2 k Ω バランス

オーディオ出力

ヘッドフォンコネクタ	6.3 mm ステレオフォンジャック
Main Out	6.3 mm ステレオフォンジャック
出カインピーダンス	約 100 Ω アンバランス
D.I. Out	XLR コネクタ
出カインピーダンス	約 100 Ω バランス
FX/Mon Out	6.3 mm ステレオフォンジャック
出カインピーダンス	約 100 Ω アンバランス
Tape Out	RCA ピンジャック
出カインピーダンス	< 10 k Ω アンバランス

システムデータ

パワーアンプ出力 120 W / 4 Ω

ベーススピーカー

タイプ 15B 120A4
インピーダンス 4 Ω
定格出力 150 W

高・中音域スピーカー

タイプ 5M 120A8
インピーダンス 8 Ω
定格出力 120 W

ツイーター

タイプ ピエゾ (圧電) タイプ

電源供給

供給電力 米国/カナダ 120 V ~、60 Hz
英国/オーストラリア 240 V ~、50 Hz
ヨーロッパ 230 V ~、50 Hz
一般輸出モデル 100 - 120 V ~、200 - 240 V ~、50 - 60 Hz

消費電力

160 W
ヒューズ 100 - 120 V ~: **T 5 A H**
200 - 240 V ~: **T 2.5 A H**

電源コネクタ

標準型 IEC コネクタ

外形寸法/重量

寸法 (高さ × 幅 × 奥行) 約 27 5/8" (700 mm) × 21 1/4" (540 mm) × 11 3/4" (300 mm)
重量 約 24 kg

BEHRINGER 社は最高の品質水準を保つ努力を常に行っています。必要と思われる改良等は予告なしで行われますので、技術データおよび製品の写真が実物と多少相違する可能性があります。